

令和7年度泉南市自主防災組織連絡協議会第1回会議 次第

【日時】 令和7年7月10日（木）10:00～

【場所】 樽井防災コミュニティセンター 多目的室

√ 1. 開会

√ 2. 泉南市・イオングループ合同防災訓練（別紙1参照）

√ 3. 大阪880万人訓練

【日時】 令和7年11月5日（水）

10:00 地震発生

10:03 大津波警報発表

√ 4. 自主防災組織リーダー育成研修

【日時】（予定）令和7年12月5日（金）13:00～

【場所】（予定）泉南府民センタービル（岸和田市野田町3丁目13-2）

√ 5. 令和7年度ボランティア向け災害ごみ処理研修会（別紙2参照）

6. 情報交換等（別紙3参照）

7. 閉会

次回の会議：【日時】 令和7年10月9日（木）10:00～

【場所】 樽井防災コミュニティセンター 多目的室

開催の2週間程前に事務局から防災アプリにてご案内します。

確認ボタンの押下とアンケートの回答にご協力お願いします。

〈配布資料〉

- ・別紙1 泉南市・イオングループ合同防災訓練について
- ・別紙2 令和7年度ボランティア向け災害ごみ処理研修会の開催について（案内）
- ・別紙3 活動報告書・活動計画書
- ・別紙4 令和7年度泉南市自主防災組織連絡協議会総会 議事概要

泉南市・イオングループ合同防災訓練について

○実施日

✓ 令和 7 年 10 月 25 日（土） 10:00～12:00

○実施場所

イオンモールりんくう泉南 平面駐車場 E（海側北端）

○実施内容

各防災関係機関等が参加する実動型の防災訓練を実施予定です。

✓ ※本年もイオンモール店舗からの避難訓練は実施しません。

※詳細が決まりましたら、防災アプリでお知らせします。また、次回会議で詳細についてご説明いたします。

○依頼事項

✓ 各自主防災組織より 5 名程度（できれば多くの方に）、訓練の参加・見学にお越しいただきますようお願い申し上げます。

（参加型訓練は大阪府（キッチンカーによる調理品の配分等）、消防（はしご車体験、煙体験、消火訓練、応急手当訓練）を予定しています。）

令和7年度泉南市自主防災組織連絡協議会総会 議事概要

令和7年4月10日(木) 10:00～11:00
樽井防災コミュニティセンター多目的室
(欠席) 岡田区、中小路区

1. 各団体・事務局の自己紹介

2. 令和7年度役員選出 ⇒ 承認

会長は樽井区自主防災会の與野様

副会長は新家東区いずみ台分区防災会の森様

男里浜区防災会の清水様

幹事は鳴滝区防災会上中様

3. 令和7年度事業計画 ⇒ 承認

●令和7年度の総会と会議の日程

●自主防災組織リーダー育成研修

●泉南市・イオングループ合同防災訓練

4. 事務局からの情報提供

●各自主防災組織防災訓練時の保険

防災訓練実施計画書に必要事項を記載の上、事前に危機管理課まで提出するだけで保険が適用される。従来の方法に加えて、スマート申請システムで24時間いつでも自宅に居ながら申請可能。

●訓練時のアルファ化米の提供

1～3月に訓練を行う場合、あらかじめ確保しておくためにも12月までに日時等が分かっていたら知らせてほしい。希望個数はできる限り1箱以内。

●Jアラート全国一斉情報伝達試験

5. 活動報告書・活動計画書の提供に関するご協力について

6. 情報交換等

令和 7 年 7 月 10 日

泉南市自主防災組織連絡協議会 各位

泉南市行政経営部危機管理課長

令和 7 年度ボランティア向け災害ごみ処理研修会の開催について（案内）

平素は、泉南市の防災・減災行政の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、災害時には、行政、社会福祉協議会、ボランティア、地域の支援団体が一日も早い被災者の生活再建を目指して対応にあたりますが、これらの関係者が連携し、それぞれの役割について理解を深め、課題を共有することが重要です。

そのため、関係機関の皆様と意見交換するための研修会を次のとおり開催いたします。参加希望の方は、7 月 24 日（木）までに危機管理課にメール、電話、FAX のいずれかでご連絡くださいますようお願いいたします。

記

- ▼日 時 令和 7 年 8 月 18 日（月）10:00～12:00
- ▼場 所 樽井防災コミュニティセンター 1 階多目的室
住所：泉南市樽井 5 丁目 14-12 電話：483-4331
- ▼参加者 主催（事務局）：泉南市社会福祉協議会、泉南市清掃課
泉南市危機管理課
班員：市民ボランティア、自主防災組織、消防団
- ▼進 行 与えられたテーマについて班で意見交換を行い、その内容を発表していただきます。その後、清掃課が解説を行います。
清掃課の解説のみのテーマもあります。
※テーマの例（令和 6 年度）
地震の際の片付け作業に災害ボランティアとして参加した時、
困る・迷うことは何か、どう行動するか

泉南市行政経営部危機管理課
担 当：城野
TEL：479-3601／FAX：483-0325
Email: kikikanri@city.sennan.lg.jp

自主防災会議本資料

サンハイツ和泉砂川自主防災会
副本部長 渡辺 敦彦

サンハイツ和泉砂川自主防災会委員の皆さまにおかれましては、日頃より防災へのご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

2015 年 5 月 30 日、サンハイツ和泉砂川管理組合第 34 回通常総会にて、「サンハイツ和泉砂川管理組合自主防災会」の設置、規約制定、および防災計画書の作成が承認されました。

自主防災会の役割は、住民の防災意識を高めること、サンハイツを災害に対応できるマンションにすること、防災の取り組みを継続・継承していくことです。

今後は自主防災会議への住民参加を呼びかけ、住民全員に自主防災会員であることを認識してもらい、開かれた防災組織として活動を継続していきましょう。

〈基本事項〉

サンハイツ和泉砂川の耐震性

サンハイツ和泉砂川は、鉄骨鉄筋コンクリート（SRC=Steel Reinforced Concrete）造で、新耐震基準となっています。

新耐震基準は、震度 6 強程度の大地震でも建物が倒壊・崩落せず、人命や財産を守れる基準です。また震度 5 程度の中地震では、軽微なひび割れ程度にとどまり、建物は損壊しないとされています。

〈検討事項〉

(1) 防災計画書の再立案

自主防災会発足当時からある計画書は、2015 年から更新されておられません。最新の防災に対応した内容で、一から作り直すことを検討しましょう。

(2) 要支援者対策

避難行動要支援者（地域支え合い活動）名簿が、泉南市危機管理課よりサンハイツ和泉砂川管理組合に提供されています。

自主防災会としましては、要支援者に対する声かけ、防災訓練協力への働きかけ、災害に関する情報提供、個別計画書の策定が平常時に必要となります。

(3) 防災マニュアル

マンション交流会（主に管理組合役員による非公式の会合）において、岸和田コーポラス様より防災マニュアルをご提供していただきました。岸和田コーポラス様では定期的に読むことを心がけ、毎年更新し、自主防災会役員の名簿もあるそうです。参考にし、サンハイツも作成しましょう。

(4) 有資格者名簿

マンション住民の有資格者——医療、看護、建築、IT、福祉、電気工学、消防、警察など、仕事上のスキルを災害時に活かしていただき、専門的な視点から適切なアドバイスをお願いできます。アンケート等で把握し、名簿を作成して適切に管理していきましょう。

(5) 防災訓練

例年通り火災発生時の避難行動、避難誘導、消火活動、消火器訓練、AED 体験もよいのですが、要支援者の避難誘導、上階への給水運搬、担架・発電機・トランシーバー・レスキューライダー・折り畳み式リヤカーの使用など、訓練内容に変化を加えることも大事かと思われます。

(6) 防災情報の普及・促進

泉南市防災アプリ(スマートフォン版)につきましては、すでに掲示板にてお知らせしましたが、幅広い層に定期的に情報発信するため、機関誌の発行や講演会の実施が望まれます。

(7) 防災倉庫備蓄品リストの比較と更新

泉南市自主防災組織連絡協議会(自主防災組織の本部長が主に参加する公式の会合)にて、市内防災会の備蓄品リストが共有されました。サンハイツも参考とし、活かしていきましょう。

(8) 風水害への備え

平成 30 年(2018 年)9 月 4 日、台風第 21 号による大雨と暴風でサンハイツも大きな被害を受けました。停電が 4 日間続き、供給ポンプ停止による断水も発生しました。地震だけでなく風水害への対策もしていきましょう。

(9) 集会場避難所運営協力について

泉南市自主防災組織連絡協議会において、市の危機管理課より上記の件のご依頼がありました。

近年、市職員の減少等により、避難所運営が難しい状況にあります。加えて地震災害等の場合、避難所への職員到着が遅れることが予想されます。

そのため、避難所運営について地元区での一定の業務分担を、該当する自主防災組織で検討することを提案されています。

あくまで希望する区との話し合いを前提とし、避難所運営に関して市から金銭的補償はありません。

サンハイツ周辺の該当指定避難所は、市場老人集会場と砂川老人集会場です。

運営例として、地震発生時に鍵を開け、市職員到着まで避難者の受付をしたり、風水害発生時に市役所の指示に従い避難所を開設したり、市から提供された備蓄品の期限管理や、期限間近の食糧等の

入替・配布・処分等があります。

(10) その他これからの活動

- ・サンハイツ和泉砂川管理規約に、自主防災会の項目を記載しましょう。
- ・ローリングストックや緊急連絡網の周知、防災クッキング等の企画を検討しましょう。

防災資機材等管理運営規定【別表】（第3条関係）

東和苑防災委員会が管理する防災資機材（令和7年5月現在）

用途、種類	番号	名称	個数	購入日	保管場所
情報連絡用 避難誘導用	1	ハンド型メガホン	4 台	H29. 10. 28	B 倉庫
	○	携帯拡声器	1 台	自治会所有	集会所
消火用	2	消火用バケツ (役員・班長・自治会役員に配布)	在庫 14 個	H29. 10. 28 R1. 5 追加	A 倉庫
救出・救護用 避難行動 要支援者支援用	3	かんたん四つ折担架	1 式	H29. 10. 28	B 倉庫
	4	◆レスキューキット BOX 型	1 セット	H29. 10. 28	B 倉庫
	5	レスキューキット専用台車	1 台	H29. 10. 28	B 倉庫
	6	救急箱 (20 人用)	1 セット	H29. 10. 28	B 倉庫
	○	ヘルメット	25 個	自治会所有	A 倉庫
	○	ヘルメット	30 個	H30 市役所より	A 倉庫
	○	ジャッキ	2 個	寄付	B 倉庫
	○	電動チェーンソー	1 式	自治会所有	A 倉庫
避難所設営 ・運営用	7	スーパーLEDランタン	4 台	H29. 10. 28	B 倉庫
	8	スーパーLED強力ライト	4 台	H29. 10. 28	B 倉庫
	9	ブルーシート	2 枚	自治会所有	B 倉庫
	13	防災用テント (4 方幕付)	3 張	H30. 8. 1	B 倉庫
	○	乾電池 (単 1)	32 個		A スーツケース
	○	座布団	27 枚	自治会所有	A 倉庫
	○	ござ	3 枚	自治会所有	A 倉庫
給食・給水用	10	非常用給水袋 (注ぎ口付)	10 枚	H29. 10. 28	A 倉庫
	○	クーラーボックス	1 個	寄付	B 倉庫
その他	11	腕章	50 枚	H29. 10. 28	B 倉庫
	12	安否確認用タオル (各戸配布)	250 枚	H29. 10. 28	B 倉庫
	14	植込バリカン (充電式)	1 式	R5. 11.	A 倉庫
	○	台車	1 台	寄付	A 倉庫
	○	土のう袋	30 枚	市役所より	B 倉庫
	○	スーツケース	2 個	寄付	A 倉庫
	○	文房具	一式	R3. 2	B 倉庫

◆レスキューキット BOX 型について (内容物)

大ハンマー・カケヤ・平バール・ボトルカッター・折り込みノコギリ
ショベル・バチツル・ロープ 10m・牛革手袋・ゴーグル・包帯

東和苑防災委員会 防災資機材等管理運営規定

(要旨)

第1条 この規定は、東和苑防災委員会（以下「本委員会」と略する）の防災資機材等（以下「資機材等」と略する）を管理運営するために必要な事項を定める。

(資機材等の保管場所)

第2条 本委員会の資機材等は、東和苑老人集会場の倉庫又は指定された場所に保管する。

(管理する資機材等)

第3条 本委員会が管理する資機材等は、別表の通りとする。

(使用事項)

第4条 本委員会の資機材等の使用については、次の事を遵守しなければならない。

- (1) 資機材等は、災害時の活動や防災訓練等に使用することとし、原則としてこれ以外の目的で使用してはならない。
- (2) 使用に際しては、粗雑に扱ってはならない。又、使用後は清掃の上保管する。
- (3) 資機材等が損傷した場合は、修繕もしくは更新する。

(資機材等の管理記録)

第5条 本委員会は、資機材等の管理を行うため、次に掲げる事を記録する。

- (1) 資機材等の購入日
- (2) 資機材等の種類、名称、数量
- (3) 資機材等の使用月日および使用目的
- (4) 資機材等の清掃に関する事
- (5) その他必要とする内容

(管理運営の責任者)

第6条 本委員会の資機材等の管理運営の責任者は、本委員会の委員長とする。

(附則)

この規定は、平成29年 3月26日から施行する。

令和6年10月27日

ルナりんくう自治会・自主防災委員会

令和6年度 ルナりんくう地区防災訓練の実施について

～「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」を実施～

1 訓練実施日時

11月17日(日)

① 訓練想定1 09:00～10:00(約1時間の予定)

② 訓練想定2 11:00～11:30(約30分の予定)

注:本訓練は、自治会の一斉清掃・草刈り時に実施します。雨天時も同様です。

2 訓練想定

本日午前8時30分、震度6弱の南海トラフ地震が発生し、泉南市内においても家屋の倒壊や火災など、市内全域で甚大な被害が発生しています。

ルナりんくう地区においても、大きな揺れに見舞われ一部家屋の傾きや家具が倒れて負傷者が出ている模様です。

上記の災害発生を想定して、住民が参加して「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」を行います。

3 訓練実施内容

(1) 訓練想定1「黄色タオル安否確認訓練」

住民の方は、自治会主催の一斉清掃に参加する際に、自宅の玄関又は門柱に黄色タオルを結び付けて下さい。

班長は黄色タオルの結び付け状況を確認して集会所の「災害対策本部」に報告して下さい。

※ 黄色タオルは「この家の者は全員無事です」という意味があります。

(2) 訓練想定2「避難行動要支援者の避難誘導訓練」

避難行動要支援者の協力を頂き、班長、支援者(協力員)自主防災等による避難誘導訓練を実施します。

本訓練には、包括支援センター、ケアマネジャーへの参加を依頼します。

4 訓練関係資料

- 令和6年度(11/17)ルナりんくう「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」実施計画

以上

令和6年10月27日

ルナりんくう自治会・自主防災委員会

令和6年度地区防災訓練

11月17日(日)実施します。

★訓練1「黄色タオル安否確認訓練」

○ 実施時間 9時00分から10時00分頃まで

「黄色タオル安否確認訓練」とは、災害時に、この家には全員無事で救助を必要とする人はいないという事を知らせる訓練です。

○ 実施要領

清掃草刈りで自宅を出るとき「玄関」「門扉」など外から一目でわかるところに、「黄色タオル」を結び付けて下さい。

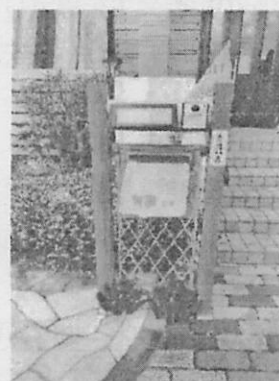
(各班長がタオルの有無を確認します。)

★訓練2「避難行動要支援者の避難誘導訓練」

○ 実施時間 11時00分から11時30分頃まで

○ 実施要領

自治会として避難行動要支援者の協力を頂き、支援者・班長及び自主防災による避難誘導訓練を実施します。



～泉南市地域包括支援センターから見学に来られます～

皆さんの「共助」でお互いの命を守りましょう

(清掃草刈りが11月24日に延期の場合には、黄色タオル安否確認訓練も同様とします)

令和6年度(11/17)ルナりんくう「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」実施計画

＜訓練想定1＞ 南海トラフ地震（震度6弱）の発生を想定した「黄色タオル安否確認訓練」

ルナりんくう自治会・自主防災委員会

時 間	住民の動向	役員・班長の動向	自主防災の動向	備 考
・08:30		・集会所に集合、清掃の準備 ※班長は黄色タオルの有無を記入するため各班の「回覧押印用紙」を準備	・防災役員は集会所で「(仮称)ルナりんくう自治会災害対策本部」設置準備	本部長～自治会長 副本部長～自主防災会長
・09:00 (時間厳守)	① 南海トラフ地震発生を想定し、自宅の玄関、門扉に黄色タオルを結ぶ ② 各班のごみ集積場の清掃開始 ③ 引き続き指定場所の清掃等に従事 (清掃終了後にタオルを撤去)	① ゴミ集積場の清掃時に「黄色タオル出しましたか」と念を押す ② 清掃を終えた後、班員宅の黄色タオルの有無を確認 (階段上の玄関も確認) ③ 「回覧押印用紙」の氏名欄に ・黄色タオルが有る～○ ・黄色タオルが無い～× を記入 ④ 確認終了後に集会所「災害対策本部」に結果報告～「回覧押印用紙」を提出してから清掃活動に復帰 (清掃終了後でも可能)	① 各集積場を車両で巡回広報を実施 ② 班長のタオル確認活動への支援 ③ 各班の「回覧押印用紙」を回収、集計	※訓練状況及び集計結果は、自主防災が取りまとめ役員班長会議で報告 ※集計結果は「ルナ自主防災通信」で住民に回覧周知

黄色いタオルが安否確認をスピードアップ

黄色いタオルが無いと



黄色いタオルがあると



<訓練想定2>

「避難行動要支援者に対する避難誘導訓練」

時 間	避難行動要支援者の動き	支援者・自主防災等の動き	備 考
・ 10:45 ・ 11:00 (約30分)	① 自宅で待機 ② 自宅内で支援者等に発見される ③ 救出されて車椅子に乗車 ④ 支援者等が付き添い避難所へ移動 ⑤ 集会所到着 ＜想定訓練2を終了＞ 注：本訓練は避難行動要支援者の協力を 頂き実施します。	① 訓練実施者は10時45分、集会所に集合 ② ＜訓練想定＞ 班長と支援者が要支援者宅を訪問、窓越しに家の 中で倒壊した家具に挟まれた要支援者を発見、現場の 状況を対策本部に報告 ③ 救出救護班が到着し救出活動開始 (車椅子、リヤカー等の資機材を携行) ④ 要支援者を車椅子に乗せて避難所(集会所)へ誘導 ⑤ 集会所到着 ＜想定訓練2を終了＞ 注：訓練実施者以外の班長は、要支援者宅付近で「避難 誘導」訓練を見学して下さい。 ※ 地域包括支援センター六尾の郷の介護支援専門員及 びケアマネジャーの参加を予定。	＜訓練実施者＞ ・ 避難行動要支援者 ・ 支援者(協力員) ・ 居住先班長～ 班 ・ 自主防災(救出救護班) ・ 民生委員 ＜見学者＞ ・ 地域包括支援センター六尾の 郷 介護支援専門員 ・ ケアマネジャー ＜使用資機材＞ ・ 車椅子、リヤカー ・ トラメガ 1個 ・ ヘルメット等



令和6年能登半島地震について

内閣府ホーム > 内閣府の政策 > 防災情報のページ > 広報・啓発活動 > みんなでつくる地区防災計画 > 地区防災計画ライブラリ > 地域別防災計画：近畿ページ

地域別防災計画：近畿ページ

地域別防災計画

[北海道](#) [東北](#) [関東](#) [北陸](#) [中部](#) [近畿](#) [中国](#) [四国](#) [九州・沖縄](#)

テーマ別地区防災計画

[課題](#) [対策](#) [主体](#)

ストーリー別地区防災計画

[ストーリー](#)

近畿地方の防災地区一覧

表示に時間がかかる場合があります

都道府県	市区町村	地区	特徴	地区防災計画資料	連絡先
大阪府	大阪市	新東三国地域	・都市部における地区防災計画づくりにおいて、地域活動協議会の果たす役割と課題を実証的に明確化し、都市部での地区防災計画づくりの普遍的なモデルの形成	新東三国地域地区防災計画 (PDF形式：2MB)	自治体にお問い合わせください
大阪府	泉南市	ルナりんくう地区	・自主防災会における平常時、災害時の取組、避難行動要支援者の支援対策を記載	ルナりんくう地区防災計画 (PDF形式：811.0KB)	泉南市 危機管理課
大阪府	高石市	第7区自治会地区	・防災マップ ・防災活動体制、災害時の活動内容を記載	第7区自治会地区防災計画 (PDF形式：626.0KB)	高石市 危機管理課
大阪府	高石市	平坂荘園地区	・防災マップ、声掛けマップの作成 ・防災活動体制、災害時の活動内容を記載	地区防災計画（平坂荘園） (PDF形式：255.3KB) 地区防災計画（平坂荘園） 声掛けマップ (PDF形式：754.2KB)	高石市 危機管理課
三重県	津市	香良洲	・防災計画の取り組み方針を一枚のポスターにとりまとめ	香良洲 (PDF形式：200KB)	津市 危機管理部 防災室
三重県	津市	丹生俣	・防災計画を一枚のポスターにとりまとめ	丹生俣 (PDF形式：260KB)	津市 危機管理部 防災室
三重県	津市	津西ハイタウン	・防災計画の取り組み方針を一枚のポスターにとりまとめ	津西ハイタウン地区防災計画 (PDF形式：837.8KB)	津市 危機管理部 防災室
三重県	松阪市	茅広江地区	・人的被害ゼロを目指し、風水害タイムラインを作成 ・タウンウォッチングにより危険箇所を把握	茅広江地区防災計画	自治体にお問い合わせください
三重県	松阪市	宮前地区	・避難行動要支援者の避難を課題とし、啓発活動に重点を置いた「声掛け避難」を展開	宮前地区防災計画書（土砂災害編）	自治体にお問い合わせください

男里浜区民の皆様へ



防災避難訓練のお知らせ

男里浜区自主防災会

TEL 483-6891

1. 訓練日時：12月14日（土）午前9時～12時（雨天決行）
2. 地震発生：訓練当日 午前9時想定
3. 訓練集合場所：男里浜区民センターへ
午前9時15分（避難先へ出発）迄にお集まりください。
4. 避難先：ワタキューセイモア泉南工場

予定時間	訓練項目	目的および内容
9:00	初動措置 情報収集 受付訓練	・各家庭の初動措置（家族の安全、使用中の電気・ガスの元栓遮断、非常時持出し物、戸締り確認） ・避難者の受付、被害状況を把握する
9:15 ～9:30	避難訓練 要支援避難訓練	・避難場所（ワタキューセイモア泉南工場への団体避難） ・避難所までの経路の確認と所要時間の確認
9:30 ～10:30	職員誘導による 避難場所へ避難 炊き出し訓練	・避難場所（4階社員食堂、屋上への避難） ・原則、階段歩行 ・区民センター内；炊き出し訓練開始
10:30 ～10:45	避難移動 誘導訓練	・避難場所（ワタキューセイモア泉南工場）から浜区民センターへ安全かつスムーズな団体行動をする
～11:00	防災教材展示	・災害時に必要な機材の展示説明
11:00 ～12:00	炊き出し訓練	・非常食の試食体験をする ・秩序ある給食と配給する訓練。

訓練参加者には、些少ですが、参加記念品を用意しております。

男 7月 14.55-4

鉄骨造 4階建

4階 饅頭 252^{56}m^2

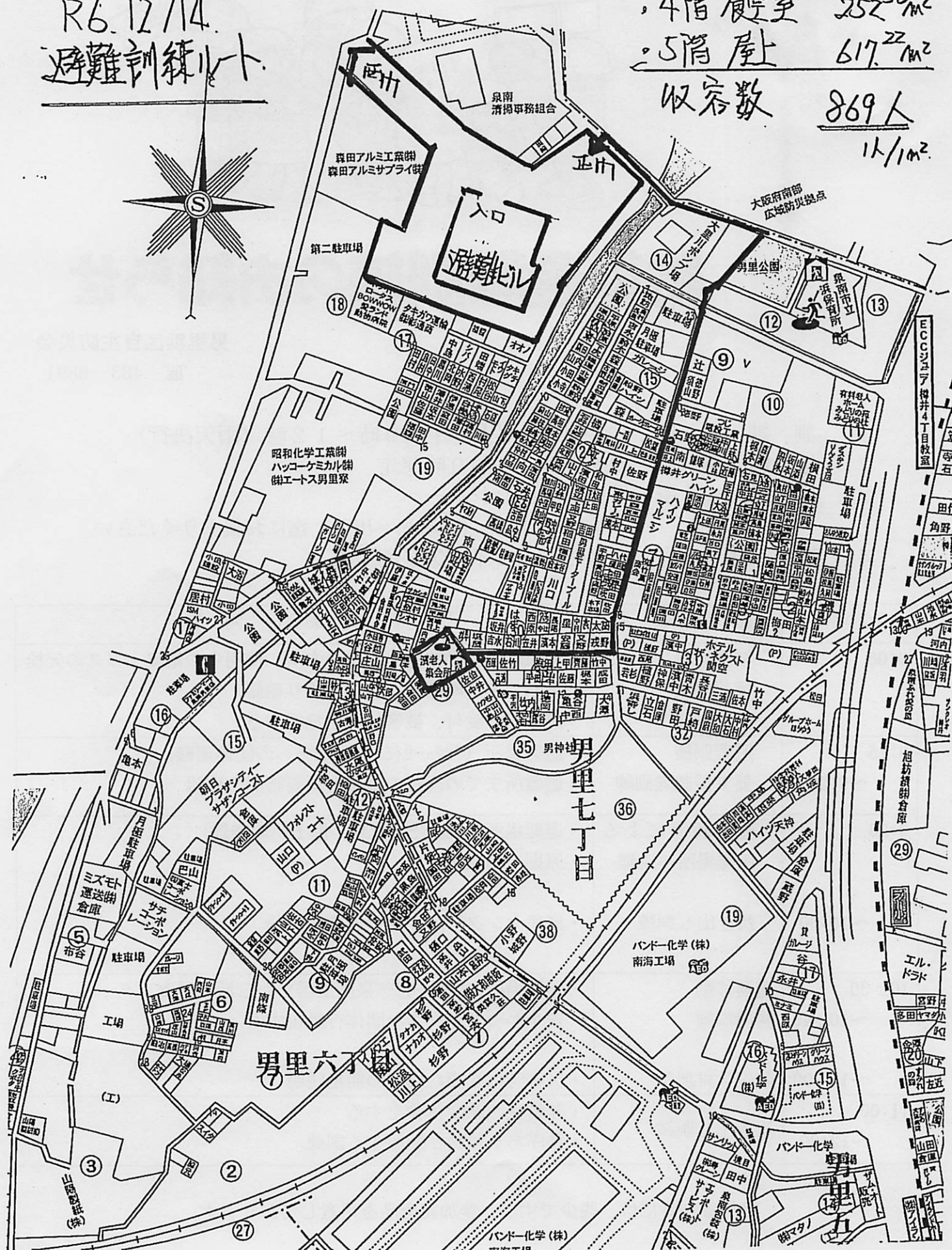
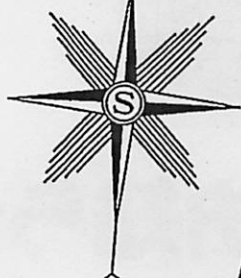
5階 617.22 m²

收容数 869人

 $1\text{h}/1\text{m}^2$

R6.12/14

避難訓練



市場区防災委員会総会議事録

日 時：令和7年6月28日（土） 午後2時

場 所：市場区民センター 1階集会室

出 席：13名、欠席：7名

議 事

1. 市場区防災会組織について

- ・市場区防災会組織のイメージを図で説明した。
- ・市場区防災委員会が区内各団体と連携・協力し、又、隣組組長を通じて区民や要支援者との情報伝達や情報収集など行う体制である旨を説明した。
- ・その為、市場区防災委員会が、区役員、各団体代表者、民生委員、防犯委員、地区福祉委員で構成されていることを説明した。

2. 令和6年活動報告について

- ・昨年12月開催の組長会議にて報告した資料に沿って説明した。

3. 「泉南市防災アプリ」について

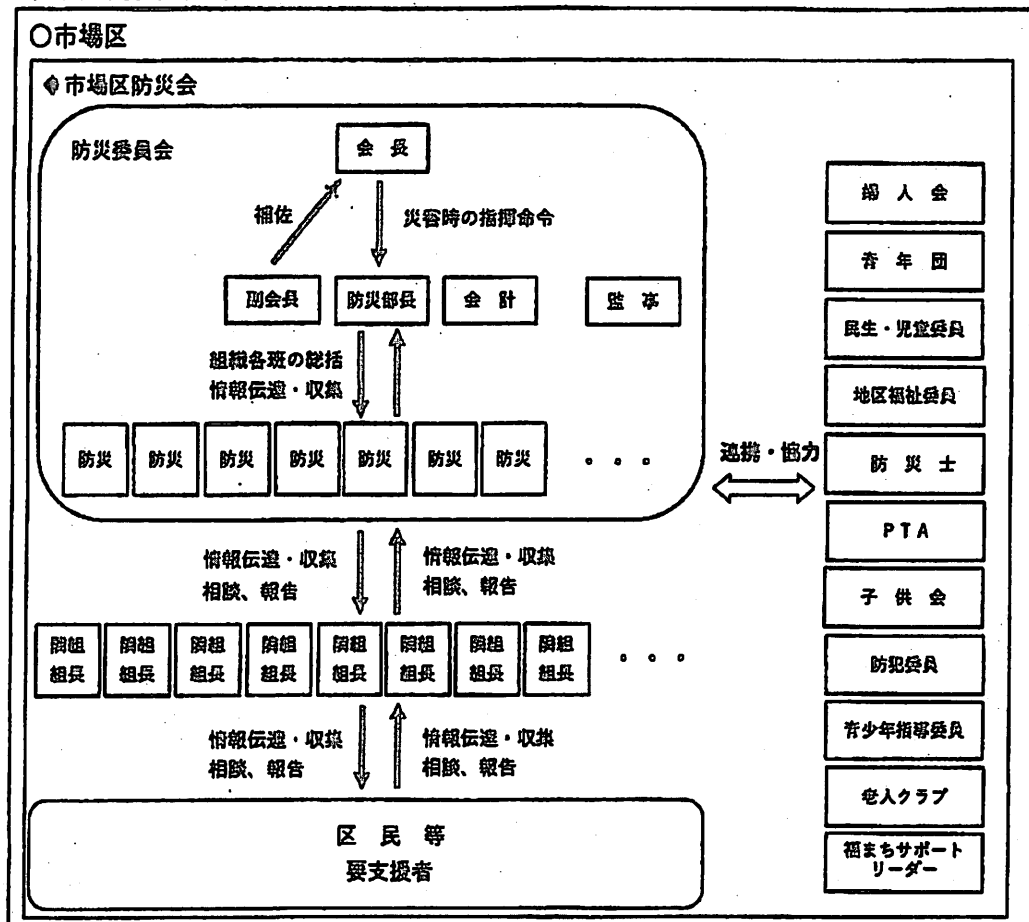
- ・「泉南市防災アプリ」の立ち上げ経緯ならびに現状のインストール状況を説明した。
- ・少しでも早く災害に関する情報を知ることが防災につながると考え、市場区防災会としてインストールの促進に取り組むことを説明した。
- ・その為、まずは防災委員会役員のインストールをお願いした。
- ・8月の組長会議でも議題に取り上げ、組長ならびに回覧板にて区民にも展開する予定であることを説明した。

4. 避難行動要支援者のケアについて

- ・泉南市発行の「step vol.29」の資料にて、「地域で出来ること」のうち「地域で支援の必要な人について情報を共有しておく」ことについての取り組みを説明した。
- ・市場区内に「避難行動要支援者」が約170名おられ、防災委員が、まずはお住まいの近くの知っている限りの方でいいので、要支援者に対して少し心配りをして欲しい旨の説明をした。
- ・将来的には、要支援者情報を共有している民生委員との連携も視野に入れている旨の説明をした。
- ・8月の組長会議でも組内の要支援者に対して、区民同士が心配りをしていただくよう話をする予定であることを説明した。

以上

市場区防災会組織イメージ



令和7年6月28日

市場区防災会 令和6年報告書

令和6年12月21日

防災委員 宮本 剛（18組）

1. 令和6年の主な活動について

- ・泉南市自主防災組織連絡協議会

時期：1月、4月、7月、10月、場所：樽井防災コミュニティセンター
市内の自主防災組織24団体が参加し、防災に関する情報交換・共有

- ・防災フェア

時期：2月、場所：イオンモールりんくう泉南イオンホール
防災をテーマにした講演会

- ・泉南市・イオングループ合同防災訓練

10月、場所：イオンモールりんくう泉南駐車場

南海トラフ地震等の大規模災害への備えとして、泉南市とイオングループが
合同で実施する防災訓練

2. 備蓄物資について

- ・泉南市からの補助金30万円を原資に備蓄物資を購入（300,520円）

物品種類	数量
・フリース毛布	50
・タオル	200
・間仕切りテント	1
・防滴型メガホン	1
・救急バッグ	1
・ポータブル電源	1

- ・グラップラー株式会社から保存水500mlペットボトル144本の寄附受領

- ・保管場所：市場稲荷神社拝殿内倉庫

3. 令和7年の活動について

- ・1の活動を主にその他防災訓練や避難行動要支援者の支援活動など

4. 会計について

- ・令和6年は市場区会計として、市補助金30万円の収入があり、備蓄物資の
購入費用として300,520円を支出した。



市場稲荷神社拝殿内倉庫入口



備蓄物資

令和6年10月27日

ルナりんくう自治会・自主防災委員会

令和6年度 ルナりんくう地区防災訓練の実施について

～「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」を実施～

1 訓練実施日時

11月17日(日)

① 訓練想定1 09:00～10:00(約1時間の予定)

② 訓練想定2 11:00～11:30(約30分の予定)

注:本訓練は、自治会の一斉清掃・草刈り時に実施します。雨天時も同様です。

2 訓練想定

本日午前8時30分、震度6弱の南海トラフ地震が発生し、泉南市内においても家屋の倒壊や火災など、市内全域で甚大な被害が発生しています。

ルナりんくう地区においても、大きな揺れに見舞われ一部家屋の傾きや家具が倒れて負傷者が出ている模様です。

上記の災害発生を想定して、住民が参加して「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」を行います。

3 訓練実施内容

(1) 訓練想定1「黄色タオル安否確認訓練」

住民の方は、自治会主催の一斉清掃に参加する際に、自宅の玄関又は門柱に黄色タオルを結び付けて下さい。

班長は黄色タオルの結び付け状況を確認して集会所の「災害対策本部」に報告して下さい。

※ 黄色タオルは「この家の者は全員無事です」という意味があります。

(2) 訓練想定2「避難行動要支援者の避難誘導訓練」

避難行動要支援者の協力を頂き、班長、支援者(協力員)自主防災等による避難誘導訓練を実施します。

本訓練には、包括支援センター、ケアマネジャーへの参加を依頼します。

4 訓練関係資料

- 令和6年度(11/17)ルナりんくう「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」実施計画

以上

令和6年10月27日

ルナりんくう自治会・自主防災委員会

令和6年度地区防災訓練

11月17日(日)実施します。

★訓練1「黄色タオル安否確認訓練」

○ 実施時間 9時00分から10時00分頃まで

「黄色タオル安否確認訓練」とは、災害時に、この家には全員無事で救助を必要とする人はいないという事を知らせる訓練です。

○ 実施要領

清掃草刈りで自宅を出るとき「玄関」「門扉」など外から一目でわかるところに、「黄色タオル」を結び付けて下さい。

(各班長がタオルの有無を確認します。)

★訓練2「避難行動要支援者の避難誘導訓練」

○ 実施時間 11時00分から11時30分頃まで

○ 実施要領

自治会として避難行動要支援者の協力を頂き、支援者・班長及び自主防災による避難誘導訓練を実施します。



～泉南市地域包括支援センターから見学に来られます～

皆さんの「共助」でお互いの命を守りましょう

(清掃草刈りが11月24日に延期の場合には、黄色タオル安否確認訓練も同様とします)

1. 南足柄市・町内会（神奈川）

南足柄市では、東日本大震災を契機に「安否確認タオル」運動を全町内会へ展開。災害発生時、住民が玄関先に黄色いタオルやハンカチを掲示することで「無事」を即座に伝達。これにより、未掲示世帯へは班長や自主防災員が訪問し、その結果を集約。貴重な人手を救助等へ集中できるようになり、迅速かつ効率的な安否確認体制を実現している([藤沢市公式サイト](#), [南足柄市公式サイト](#))。

2. 箕面市・自治会（大阪）

箕面市では、市内全域で「黄色いハンカチ作戦」を実施。町内会を約20班に分け、各班ごとに責任を持って訓練に臨む。午前10時の合図とともに各世帯が玄関先に黄色い布を掲示し、班長が巡回して掲示率をチェック。掲示のない世帯には声掛けや訪問確認をし、その情報は地区防災委員会へ報告。こうして住民主体の安否確認体制を確立している([箕面市公式サイト](#))。

3. 香椎グリーンタウン自治会（福岡・東区）

福岡市東区・香椎グリーンタウンでは、約300世帯に防災リュックと「無事です」タオルを配布。訓練では、避難時に玄関へタオルを掲げる動作を実演し、その後早期に全居住者の安否を目視確認。未掲示世帯は救助優先対象とし、担架作成・応急処置といった訓練に円滑に移行。住民参画型で実効的な安否確認の一連の流れを体得している([J:COM地域取材ノート](#))。

4. 氷川町内会（埼玉・鴻巣市）

鴻巣市の袋町内会では、令和2年度・4年度に消防団協力のもと黄色い安否確認タオルを班長経由で全世帯配布。訓練当日は朝8時30分までにタオルを掲示し、班長が巡回カウント。掲示率は73%と高評価。掲示の無い住戸は救助要請と見なし、放水訓練やAED研修などその後の訓練へスムーズに移行している([鴻巣市公式ウェブサイト](#))。

5. 興人東逗子自治会（神奈川・逗子市）

2018年、逗子市・興人東逗子自治会で「黄色いハンカチ作戦」を初導入。地震・風水害を想定した防災訓練では、住民が道路から見える場所に黄色いハンカチを掲示し、「我が家は無事」の意思表示。訓練後、現場では「短時間で安否確認できた」と防災部長も評価し、防災意識向上と迅速対応力の習得につなげている([タウンニュース](#))。

6. 加須市・花崎北第3区町内会（埼玉）

加須市の花崎北第3区町内会でも「無事です」タオルによる安否確認訓練を継続実施。町内会員が門扉や郵便受けに黄色タオルを掲示し、班長が巡回確認。掲示住戸をスムーズに把握して、救援要否を迅速に判断し救助資源を集中。訓練受付からアナウンス・集計まで自治会運営で進められ、住民の自主性を高めている([加須市役所](#))。

7. 二俣川ニュータウン第二町内会（横浜市旭区）

横浜市旭区の二俣川ニュータウンでは、平成24年以降、黄色い旗（タオル）出し訓練を10回実施。360世帯を23グループに分け、「ご近所集合場所」でタオル掲示有無を確認。その後、掲示なし世帯へグループ参加者が安否確認へ。これにより近隣助け合いの輪が広がり、災害時の効率的な地区対応体制が担保されている(city.yokohama.lg.jp)。

8. 佐保川地区自主防災防犯会（奈良県）

奈良の佐保川地区では、富士宮市の黄色いハンカチ作戦をヒントに「白いタオル作戦」を採用。認知しやすい白タオルを震度5強以上の地震後に掲示し、「全員無事」を示すルール。自治会・自主防災会主導の訓練では、掲示確認→安否未確認世帯への声かけ→集計までを短時間で実施し、共助体制と迅速対応態勢を地域に根づかせている([佐保川地区自治連合会](#))。

9. 南新井自主防災会（静岡・富士宮市方式）

大阪の南新井自主防災会では、富士宮方式を参考に「白いハンカチ運動」を導入。地域準備のしやすさを考慮し、黄色→白布へアレンジ。震度5強以上の地震の際、全員無事なら玄関に白布掲示。これで早期に救助が必要な世帯を特定でき、公助依存から脱却し自主・共助の地域防災力を強化している([Google Sites](#))。

10. 藤沢市・町内会複数（神奈川）

藤沢市の防災アンケート結果では、複数町内会が訓練時に玄関へ黄色タオルを掲出し、12組長が確認→報告を実施。要支援者宅の訪問や声掛けと連携し、タオルによる安否確認ワンセットが定着。これによりマンションや高齢者層対策など、地域特性への対応が進むとの評価がある([藤沢市公式サイト](#))。

令和6年10月27日

ルナりんくう自治会・自主防災委員会

令和6年度 ルナりんくう地区防災訓練の実施について

～「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」を実施～

1 訓練実施日時

11月17日(日)

① 訓練想定1 09:00～10:00(約1時間の予定)

② 訓練想定2 11:00～11:30(約30分の予定)

注:本訓練は、自治会の一斉清掃・草刈り時に実施します。雨天時も同様です。

2 訓練想定

本日午前8時30分、震度6弱の南海トラフ地震が発生し、泉南市内においても家屋の倒壊や火災など、市内全域で甚大な被害が発生しています。

ルナりんくう地区においても、大きな揺れに見舞われ一部家屋の傾きや家具が倒れて負傷者が出ている模様です。

上記の災害発生を想定して、住民が参加して「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」を行います。

3 訓練実施内容

(1) 訓練想定1「黄色タオル安否確認訓練」

住民の方は、自治会主催の一斉清掃に参加する際に、自宅の玄関又は門柱に黄色タオルを結び付けて下さい。

班長は黄色タオルの結び付け状況を確認して集会所の「災害対策本部」に報告して下さい。

※ 黄色タオルは「この家の者は全員無事です」という意味があります。

(2) 訓練想定2「避難行動要支援者の避難誘導訓練」

避難行動要支援者の協力を頂き、班長、支援者(協力員)自主防災等による避難誘導訓練を実施します。

本訓練には、包括支援センター、ケアマネジャーへの参加を依頼します。

4 訓練関係資料

- 令和6年度(11/17)ルナりんくう「黄色タオル安否確認訓練」及び「避難行動要支援者の避難誘導訓練」実施計画

以上

1. 南足柄市・町内会（神奈川）

南足柄市では、東日本大震災を契機に「安否確認タオル」運動を全町内会へ展開。災害発生時、住民が玄関先に黄色いタオルやハンカチを掲示することで「無事」を即座に伝達。これにより、未掲示世帯へは班長や自主防災員が訪問し、その結果を集約。貴重な人手を救助等へ集中できるようになり、迅速かつ効率的な安否確認体制を実現している([藤沢市公式サイト](#), [南足柄市公式サイト](#))。

2. 箕面市・自治会（大阪）

箕面市では、市内全域で「黄色いハンカチ作戦」を実施。町内会を約20班に分け、各班ごとに責任を持って訓練に臨む。午前10時の合図とともに各世帯が玄関先に黄色い布を掲示し、班長が巡回して掲示率をチェック。掲示のない世帯には声掛けや訪問確認をし、その情報は地区防災委員会へ報告。こうして住民主体の安否確認体制を確立している([箕面市公式サイト](#))。

3. 香椎グリーンタウン自治会（福岡・東区）

福岡市東区・香椎グリーンタウンでは、約300世帯に防災リュックと「無事です」タオルを配布。訓練では、避難時に玄関へタオルを掲げる動作を実演し、その後早期に全居住者の安否を目視確認。未掲示世帯は救助優先対象とし、担架作成・応急処置といった訓練に円滑に移行。住民参画型で実効的な安否確認の一連の流れを体得している([J:COM地域取材ノート](#))。

4. 氷川町内会（埼玉・鴻巣市）

鴻巣市の袋町内会では、令和2年度・4年度に消防団協力のもと黄色い安否確認タオルを班長経由で全世帯配布。訓練当日は朝8時30分までにタオルを掲示し、班長が巡回カウント。掲示率は73%と高評価。掲示の無い住戸は救助要請と見なし、放水訓練やAED研修などその後の訓練へスムーズに移行している([鴻巣市公式ウェブサイト](#))。

5. 興人東逗子自治会（神奈川・逗子市）

2018年、逗子市・興人東逗子自治会で「黄色いハンカチ作戦」を初導入。地震・風水害を想定した防災訓練では、住民が道路から見える場所に黄色いハンカチを掲示し、「我が家は無事」の意思表示。訓練後、現場では「短時間で安否確認できた」と防災部長も評価し、防災意識向上と迅速対応力の習得につなげている([タウンニュース](#))。

6. 加須市・花崎北第3区町内会（埼玉）

加須市の花崎北第3区町内会でも「無事です」タオルによる安否確認訓練を継続実施。町内会員が門扉や郵便受けに黄色タオルを掲示し、班長が巡回確認。掲示住戸をスムーズに把握して、救援要否を迅速に判断し救助資源を集中。訓練受付からアナウンス・集計まで自治会運営で進められ、住民の自主性を高めている([加須市役所](#))。

7. 二俣川ニュータウン第二町内会（横浜市旭区）

横浜市旭区の二俣川ニュータウンでは、平成24年以降、黄色い旗（タオル）出し訓練を10回実施。360世帯を23グループに分け、「ご近所集合場所」でタオル掲示有無を確認。その後、掲示なし世帯へグループ参加者が安否確認へ。これにより近隣助け合いの輪が広がり、災害時の効率的な地区対応体制が担保されている(city.yokohama.lg.jp)。

8. 佐保川地区自主防災防犯会（奈良県）

奈良の佐保川地区では、富士宮市の黄色いハンカチ作戦をヒントに「白いタオル作戦」を採用。認知しやすい白タオルを震度5強以上の地震後に掲示し、「全員無事」を示すルール。自治会・自主防災会主導の訓練では、掲示確認→安否未確認世帯への声かけ→集計までを短時間で実施し、共助体制と迅速対応態勢を地域に根づかせている([佐保川地区自治連合会](#))。

9. 南新井自主防災会（静岡・富士宮市方式）

大阪の南新井自主防災会では、富士宮方式を参考に「白いハンカチ運動」を導入。地域準備のしやすさを考慮し、黄色→白布へアレンジ。震度5強以上の地震の際、全員無事なら玄関に白布掲示。これで早期に救助が必要な世帯を特定でき、公助依存から脱却し自主・共助の地域防災力を強化している([Google Sites](#))。

10. 藤沢市・町内会複数（神奈川）

藤沢市の防災アンケート結果では、複数町内会が訓練時に玄関へ黄色タオルを掲出し、12組長が確認→報告を実施。要支援者宅の訪問や声掛けと連携し、タオルによる安否確認ワンセットが定着。これによりマンションや高齢者層対策など、地域特性への対応が進むとの評価がある([藤沢市公式サイト](#))。

令和7年度 泉南市協議会 第1回会議 議事録

日時: 令和7年7月13日(金) 午前10時~午前11時
場所: 泉南防災コミュニティセンター 多目的室

1. 開会・注意事項

- ・ 午前10時に開会。
- ・ 会議は1時間程度、午前11時終了予定。
- ・ 発言時は挙手し、事務局からマイクを受け取る。所属と氏名をべてから発言する。
- ・ 本日の会議は北区のビジネス木の方が欠席。

2. 泉南市イオングループ合同防災訓練について

- ・ 日時: 10月25日(土) 午前10時~正午
- ・ 場所: イオンモールりんくう泉南の海側北側の車両
- ・ 実施内容: 例年とほぼ同じ。関係機関との合同防災訓練、大阪道「わっとキャラバン」と称するテントブースでの訓練。
- ・ 参加者: 各種組織から5名程度の参加を希望。
- ・ 今年は避難訓練は行わず、煙体験、消化訓練、応急手当などの「1」の訓練を実施。
- ・ 炊き出しキッチンカーが来る予定で、試食も可能。
- ・ 服装は自由。
- ・ 一般参加者もいる。
- ・ 受付について: 訓練参加は自由なため、受付は行わない。開会式での要める。
 - 清水氏より、過去に受付があったこと、今回ないのかという質問。
 - 事務局は、混乱を招いたことを認識しつつも、今回も断念した。
 - 今後、意見があれば検討する可能性も示唆。

3. 大阪880万人訓練について

- ・ 日時: 11月5日(水)
- ・ 現時点で府からの正式な通知は届いていないが、大阪府ページで公開されている。
- ・ 正式な通知が届き次第、防災アプリなどで案内する。

4. 自主防災組織リーダー育成研修について

- ・ 日時: 12月5日(金) 午後1時~(13時~)
- ・ 場所: 南民センター
- ・ 詳細が決まり次第、アプリで案内する。

5. 令和7年度 ボランティア向け災害ゴミ処理について

- ・ 6月18日に案内済みだが、最終案内。
- ・ 趣旨: 災害時における行政、社会福祉協議会との連携強化と課題共有。
- ・ 内容: 与えられたテーマについてグループで課題解決のみのテーマも5つあり。
- ・ 日時: 8月18日(月) 午前10時~正午
- ・ 場所: 泉南防災コミュニティセンター 多
- ・ 参加申し込み: 7月24日(木)までに危機管理ブックなどが資料として配布
- ・ 研修会では、詳細資料やボランティア、でも知る方法はないか質問が
- ・ 清水氏より、災害時のゴミ処理方法あった。

- 事務局は、研修会参加者には資料を配布するが、ホームページ等での公開を検討する可能性を示唆。
- 想定参加人数は16名から20名以内。
- 自治会からの参加は必須ではなく、希望者を募る形だが、場合によっては声かけも必要。

6. 情報交換 (活動報告書、活動計画書について)

- 前回会議で言及された活動報告書、活動計画書が資料として配布された。
- 危機管理課が提供された資料に加え、防災訓練計画書からいくつか選定している。
- 各自治会の活動の参考にしてほしい。
- もし質問があれば、危機管理課を通して連絡しても良いとのこと。
- ルナリンク自治会の「黄色いタオル訓練」について
 - ルナリンクの豊田氏より説明があった。
 - 目的: 大震災時の確認の手段として。
 - 方法: 震災時に黄色いタオルを玄関や郵便ポストに掲げることで「無事」を示す。掲げられていない家を訪問する。
 - 訓練: 年に1回、活動の際に実施。全世帯が家を出る際に自動的に黄色いタオルを玄関に掲げる。
 - 班長が各世帯状況をチェックし、集約する。
 - 現在の掲示率 %。
 - 住民に防災意識を高めることを目的としている。
 - 避難困難者も同時に実施しており、車椅子での避難誘導方法なども検証している。
 - 参加率は素晴らしいと評価があった。
 - 清水氏より家への対応について質問があり、豊田氏は、安否確認が目的であり、タオルが安否確認を優先すると説明した。
 - り、実際

ルナリンクの豊田氏より情報提供)

7. 民泊問題について

- (2018年)6月に施行された。
- 住宅宿泊事業法に関するケースがあり、問題となっている。
- 住民に無断で民泊の案内をする義務があるが、ポストに投函されるだけの場合もある。
- 近隣10m以内にある。
- り、住民が苦情を申し立てる。
- 民泊により近隣住民が苦情を申し立てる。
- ルナリンク民泊が多く、最終的に事業者は断念した。
- 説明会では民泊が自由に関覧可能で、泉南市内にも他にも届け出があることが判明。
- 住宅宿泊事業法の施行で年間180日まで民泊サービスが行えるものであり、地域明。
- この法律は、民泊の届出が義務付けられている。
- 住民の意向が尊重される。
- 事業者は、民泊の届出が義務付けられている。
- 実的には難しい。
- ルナリンク自治会の民泊問題に関するチラシを配布し、注意喚起を行っている。
- 建築協定の見直しを検討している。
- 建築協定の見直しを検討している。
- 算面市、豊中、住民生活を守るために民泊の「自主的な位置づけ(できる地域とできない地域)を制定している。
- 地域とできない地域を制定している。
- 行政を動かすのではなく、広範囲での共働が必要と考えている。
- 不明な民泊の把握が困難になるという防災面での問題も指摘。
- 災害時の避難の把握が困難になるという防災面での問題も指摘。
- 清水氏より民泊の場合の相談先について質問があった。
- 豊田氏は、民泊が困っている現状を訴えることが重要と述べた。警察は一時的な対応で済ませるべきだと強調。
- 住民の声を聴くべきだと強調。